

学習指導要領に対応した学習評価について

学習指導要領（平成29年告示）の考え方

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

資質・能力
三本の柱

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

より良い学校教育を通じてより良い社会を創るという目標を共有し
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む
「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

どのように学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直し
小：外国語科 高：公共科

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善、学習過程の質的改善 等

目指す資質・能力「三つの柱」

知識及び技能

思考力・判断力
表現力等

学びに向かう力
人間性等

評価の観点

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

感性・
思いやり等